

RAIL CLAMPER

Patent number: JP55081901
Publication date: 1980-06-20
Inventor: TOYAMA SHIGETAROU
Applicant: TETSUDOU KIZAI KOGYO KK
Classification:
- international: E01B9/30
- european:
Application number: JP19780154932 19781218
Priority number(s): JP19780154932 19781218

Abstract not available for JP55081901

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑩ 日本国特許庁 (JP)
⑫ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開
昭55—81901

⑬ Int. Cl.³
E 01 B 9/30

識別記号

庁内整理番号
6705—2D

⑭ 公開 昭和55年(1980)6月20日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮ レール締結装置

東京都港区芝公園 2-2-11

⑯ 特 願 昭53—154932

⑰ 出 願 人 鉄道軌材工業株式会社

⑱ 出 願 昭53(1978)12月18日

東京都港区芝公園 2-2-11

⑲ 発 明 者 外山繁太郎

⑳ 代 理 人 弁理士 中川周吉

明 細 書

1. [発明の名称]

レール締結装置

2. [特許請求の範囲]

上部に傾斜孔を有する絶縁性押込鉄栓と、該傾斜孔を貫通して該鉄栓に固定し得る固定部と該固定部を貫通することによってレールを押圧し得る押え部とを有するバネクリップとの組合せよりなるレール締結装置。

3. [発明の詳細な説明]

本発明はレール締結装置に係り、更に詳しくは上部に傾斜孔を有する絶縁性鉄栓と、該傾斜孔を貫通し得る固定部と該固定部を貫通することによってレールを押圧し得る押え部とを有するバネクリップとの組合せよりなるレール締結装置に関するものである。

るものである。

従来、レールをコンクリート枕木に締結する場合に枕木内に埋設された埋込栓にネジボルトを螺合してこれによつてレール締結バネ板を固定して構成していたが、従来のネジボルトを使用するものはレールの振動によつてネジボルトがゆるんでしまう為、時々これを締め付けなければならず、それ等の保守が大変である欠点があつた。

本発明は従来の之等の欠点を鑑み開発された全く新規な構造の締結装置に関するものである。

図により本発明の第一実施例を具体的に説明すると、第1図及び第2図に於いて、Aは上部に上下方向に傾斜された傾斜孔1を有し外面を絶縁樹脂2によつて被覆された鉄栓であつて、コンクリート製枕木3の所定位置に予め埋設されている。

次にBは前記傾斜孔1を貫通させて鉄栓Aに固定し併る固定部4と固定部4を貫通固定することによつて、レール5を枕木3に押圧し併る押え部6とよりなる断面角型のパネクリップであつて、固定部4と押え部6との間にはレール5の振動を柔軟に受ける種に曲げ部7、8が設けられている。又、固定部4の先端には固定部4が傾斜孔1から振動等によつて不用意に外れるのを防止し併る段部aが設けられている。9はレール5の下面に敷くパッドである。

本発明に係る装置の使用に当つては第2図乃至第5図に示す如く、枕木3の所定位置に予め埋設された鉄栓A間にパッド9を敷き、その上にレール5を敷設し、パネクリップBの押え部6をレール5のフランジ上に敷置すると共に固定部4を鉄

(3)

ルトを使用した場合の如く時々ネジを締め付けて保守する必要がなく、保守作業及び保守費用を極めて軽減せしめることが出来る特徴を有するものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本装置の斜視図、第2図は使用状態を示す斜視図、第3図はナの一部を切開した正面図、第4図はその平面図、第5図はその一部を切開した側面図である。

- | | |
|-----------|--------------|
| A : 鉄 栓 | B : パネクリップ |
| 1 : 傾 斜 孔 | 3 : 枕 木 |
| 4 : 固 定 部 | 5 : レ ー ル |
| 6 : 押 え 部 | 7, 8 : 曲 げ 部 |
| 9 : パ ッ ド | a : 段 部 |

(3)

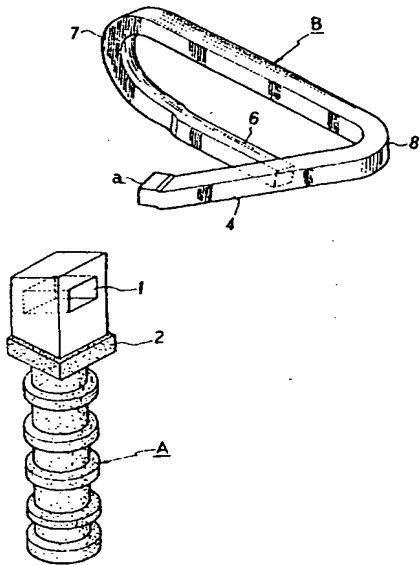
特開昭55-81901(2)

栓Aの傾斜孔1の高い方の口に宛行いハンマー等で曲げ部8の外側面を打ち、固定部4の段部aを傾斜孔1の低い方の口から突出させることによつて、レール5を完全に締結することが出来る。又、レール5の横方向のずれを防止するため、特に第5図に示す如く鉄栓Aの側面とレール5の下側面とを当接させている。

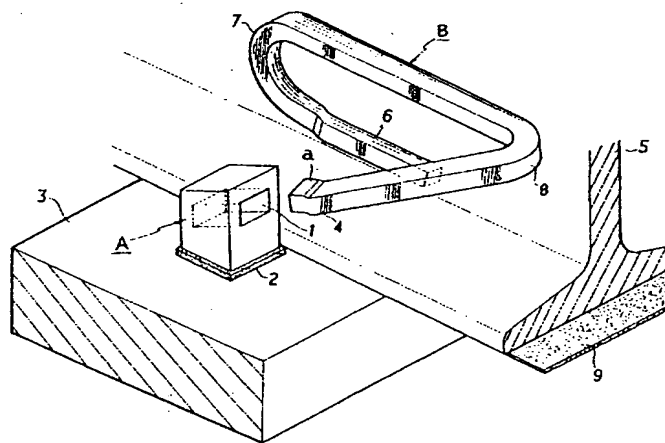
本発明に係る装置は上述の如く、上部に傾斜孔を有する鉄栓と、先端に段部を有しかつ傾斜孔を貫通し併る固定部とレールのフランジ上に敷置し併る押え部等とよりなるパネクリップとを使用し、これによつてレールを枕木に固定するため、レールを簡単かつ完全に締結することが出来ると共に列車が通過する際に生ずる振動によつてこれ等の締結装置がゆるむ恐れが全くなく、従来のネジボ

(4)

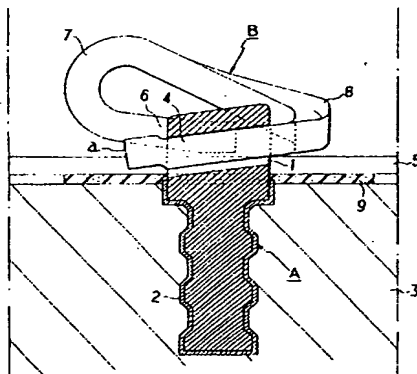
第 1 図



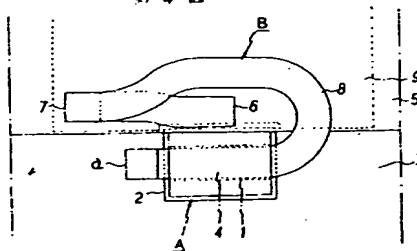
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

